

第26回健康生きがいづくりアドバイザー全国大会
分科会 100歳大学

栗東100歳大学

～行政の立場から～

人生100歳時代。

これからの30～40年間の人生第2幕は、地域で活躍することで充実します。

栗東100歳大学は、これからの人生を健康で生きがいを持って豊かに生きる知識と方法を学びます。

卒業はあるけど、試験はなし。仲間とともに生き方の技を極めます。

2018(平成30)年11月10日

青木 直美

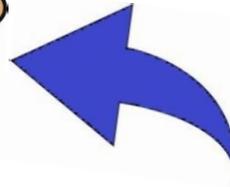
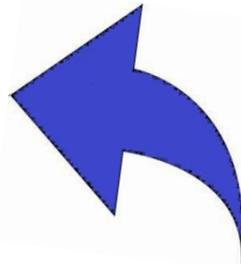
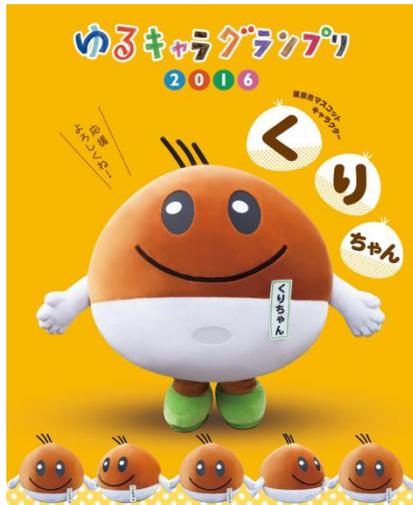
(滋賀県栗東市役所 長寿福祉課 地域支援係)

滋賀県栗東市の紹介



滋賀県の南部に位置し、市の北部は平坦地南部は緑豊かな山地となっています。

北西部はJR琵琶湖線栗東駅が開設されたことにより、京阪神への通勤圏となり大規模な住宅整備が進み、人口増加が続いています。



栗東市長 野村 昌弘

100歳大学で人生第2幕にもう一肌脱げる後押し



◎100歳大学を栗東市に合ったものにカスタマイズ

⇒「栗東100歳大学」

人生第2幕にもう一肌脱げる後押し

- ・住民の力は凄い
- ・高齢者のスキルは計り知れない
- ・協働者間の共通理解と合意形成
- ・主体的に実践が継続できる支援

人生第2幕

もう一肌脱げる後押し

栗東100歳大学

学びを社会に還元する



人生100歳時代に目指すもの



~新しい働き方モデルの創出~

栗東市の強み

- ▶ 若いまち(※1)
- ▶ 低い要介護認定率(※2)
- ▶ アクティブシニアが活躍
- ▶ 「自助」「互助」の関係構築が可能

※1: 人口 69,326人 (H30.11.1現在)
 高齢化率 65歳以上 18.63%
 75歳以上 8.36%

※2: 要支援・要介護認定率 14.4%(H30.7末)

市民自らが社会の状況を理解し、健康づくりや助け合いなど「自助」「互助」を構築。要介護認定率抑制を図る。

健康寿命の延伸による

健康で豊かな老後

医療、介護費の抑制

新たな働き方

- ★健康で100歳まで活躍
- ★新たな活躍・社会貢献
 - 健康づくり支援・生活支援の中心的担い手
 - 起業・兼業・副業 → 第二の創業

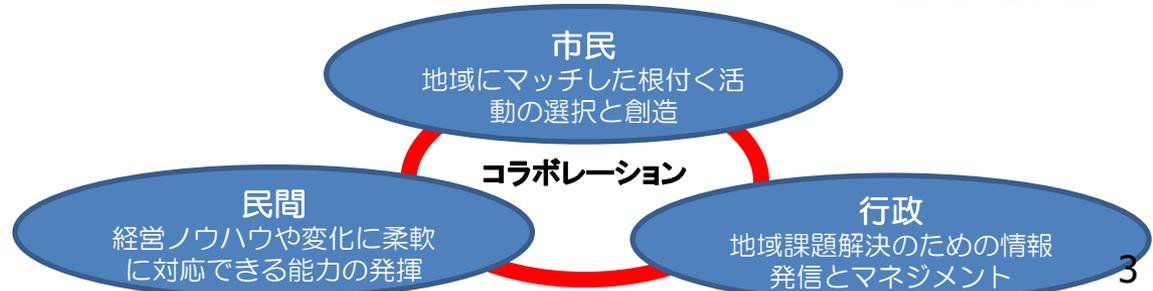
体系化されたカリキュラムを通じた

自らの関心に応じた「学び直し」 =

働き方モデルの手法を生み出し確立するための必要条件

栗東100歳大学

- ①自分の老後に活かす
- ②地元の地域で活かす
- ③スキルを持って活躍する



栗東100歳大学開校



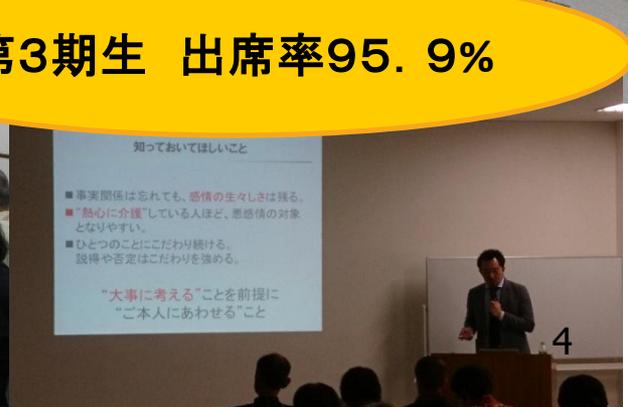
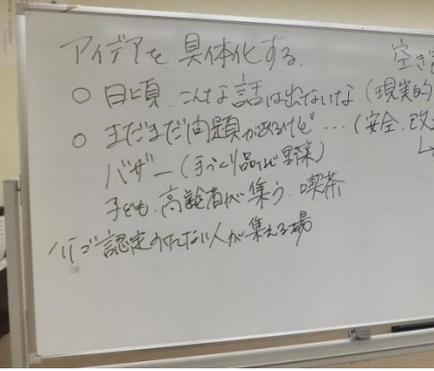
第2期生 出席率87.4%



第1期生 出席率83.3%



第3期生 出席率95.9%



地域包括ケアシステム実践！ 卒業生生活動支援



2016(平成28)年度
高齢者生きがい活動促進事業国庫補助交付
※市の持ち出し費用なし



2016年9月～2017年3月
チャレンジショップでの
ADマーケット

2017年6月さわやか福祉財団イン
ストラクターの方による場所の提供により
活動拠点整備

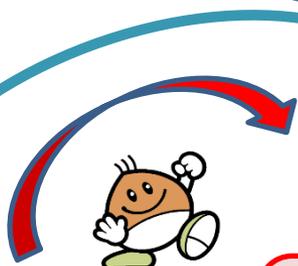


2019年度 開始予定！
シニアが活躍しての
子育て支援活動

農楽部

健康マーじゃん

はっぴー
いきいき百歳体操



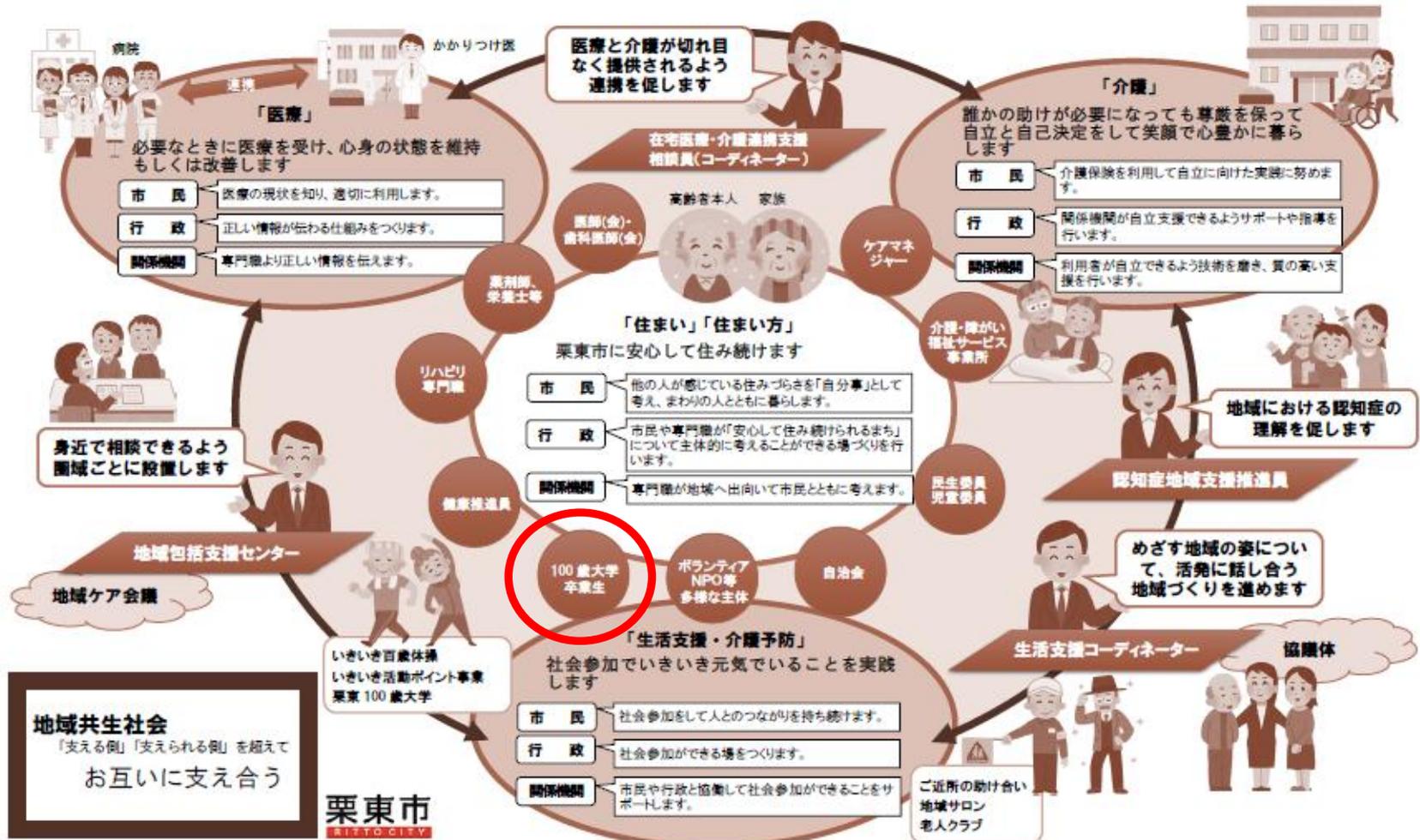
地域少子化対策重点
推進事業の活用(予定)

地域包括ケアシステムの深化・推進 地域共生社会の共創へ



栗東市における地域包括ケアシステムのイメージ

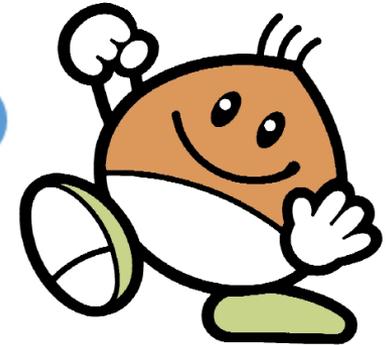
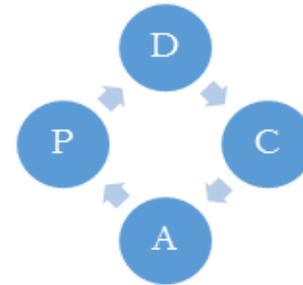
2025年に向けて、だれもが住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう「地域共生社会を見据えた地域包括ケアシステム」を深化・推進する必要があります。



まだまだこれから

栗東100歳大学は、住民が使いやすいよ カスタマイズして リニューアル！

平成30年度



1、60～74歳行動・ニーズ調査の実施

・60～74歳住民約10,000人より年齢、性別、小学校区を考慮した無作為抽出4,000人対象に7月に調査を実施。「地域での生活」「生活に関する意識」「学習活動、社会活動、趣味や余暇」「情報入手、情報機器の利用」についての内容。回収率52.7%。集計、分析中。

2、シニアが活躍できるまちづくり協議会の開催

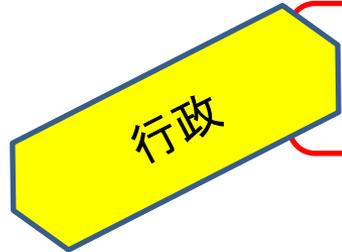
「人生100年時代」の健康寿命の延伸と豊かな老後に向け、シニアがますます活躍できる施策の提案。

3、栗東100歳大学のあり方の検討と事業内容の見直し

人生第2幕にもう一肌脱げる後押し

100歳大学

～行政の立場として～



費用対効果

・成果をだす

職員のメンタルヘルスの保持

・仕事量の調整



最小限の力で最大の効果をうむ

100歳大学

・コンパクトに

目的達成できる最低限の量、回数。

カリキュラムや回数は、自治体ごとのねらいに応じてカスタマイズできる柔軟性。

・目的的に

地域共生社会を見据えた地域包括ケアシステムの深化・推進に資すると明言。

・住民ニーズに合わせて

カリキュラムをパッケージ化しすぎず、住民が選択できる幅をもたせる。

・お得感をもたせて

「充実している」「よかった」「他のことでも役立った」など住民の満足感が得られる。

共に活動させていただいている皆様に 感謝！これからもお願いします。



これからも、皆さんに支えていただきながら感謝の気持ちを忘れず、信頼関係を構築し、みんなが活躍できるよう、行政として役割を果たしていきます。

ご清聴ありがとうございました。